



# 進取

令和3年12月15日発行

阿久根市立阿久根小学校  
27学級 児童数438名

## 2学期有り難うございました！ 家族で過ごすいい冬休みを！

校長 深川 光久

いよいよ2学期が、そして令和3年が終わりに近づいてまいりました。2学期中、様々な行事や参観等に出席やご協力をいただき、有り難うございました。新型コロナウイルス感染症対策でいろいろと頭を悩ませることもありましたが、無事様々な教育活動を行うことができました。このまま、なんとか新型コロナウイルス感染症の流行も収まっていくといいのですが、3学期ももう少しご協力をお願いいたします。

さて、冬休みと言えば、保護者の皆様はどんな言葉が浮かんでくるでしょうか？「クリスマス」「大掃除」「大晦日」「門松」「紅白歌合戦」「お年玉」などなど。自分たちが過ごしてきた年末年始の姿を現代なりに伝えていきたいものです。

私の子どもの頃は30日から家族総出で、大掃除でした。私の仕事は、「窓のガラス拭き」。任された仕事を自分なりに取り組んだものでした。本当にきれいになっていかどうか分かりませんが、褒められてうれしかった記憶があります。両親は農具用の倉庫の片付けをしていました。31日になり、掃除が一段落すると、近くの山にシラス土を取りに行き、庭に門松を立てました。門松と言っても、シラスを山の形状にして、その中央に松や梅、ユズリハ、ナンテンなどを立てるだけの簡単なものです。最後には庭に箒の目を立てた後、シラスを庭にまいて、松の形をつくりました。すべての大掃除が終わって、夕食の準備に入ることには薄暗くなっていました。みんなで頑張って、紅白歌合戦を見ながら大晦日の夕食をとる時間は今となっては幸せな時間だったと思います。

冬休みは、日本独特の季節の行事を体験し、家族のあたたかい時間を過ごす時間にしたいですね。年末の忙しさに大変ですが、子供に役割を与え、家族の一員として頑張ったことをぜひほめてあげてください。その一つ一つが、子どもの仕事で役割を果たす気持ちや人に貢献しようとする気持ち、家族観を育てていくと思います。



### 子どもの生活リズムを崩さないでください。

冬休みなどの長期休みに入ると、生活リズムを崩してしまう子供たちがいます。そんな子供たちの中には、3学期なって思うように朝起きられなかったり、午前中体がきつかったりして不登校につながる子供もいます。特に3学期はじめは、寒い時期となるため不登校につながる可能性が高くなります。正月三が日、ゆっくりしたら、生活リズムを戻すようにしてください。最近ゲームからくる生活リズムの乱れもよく見られます。

